

週間漁海況情報 2026年第26号

令和8年7月7日発行

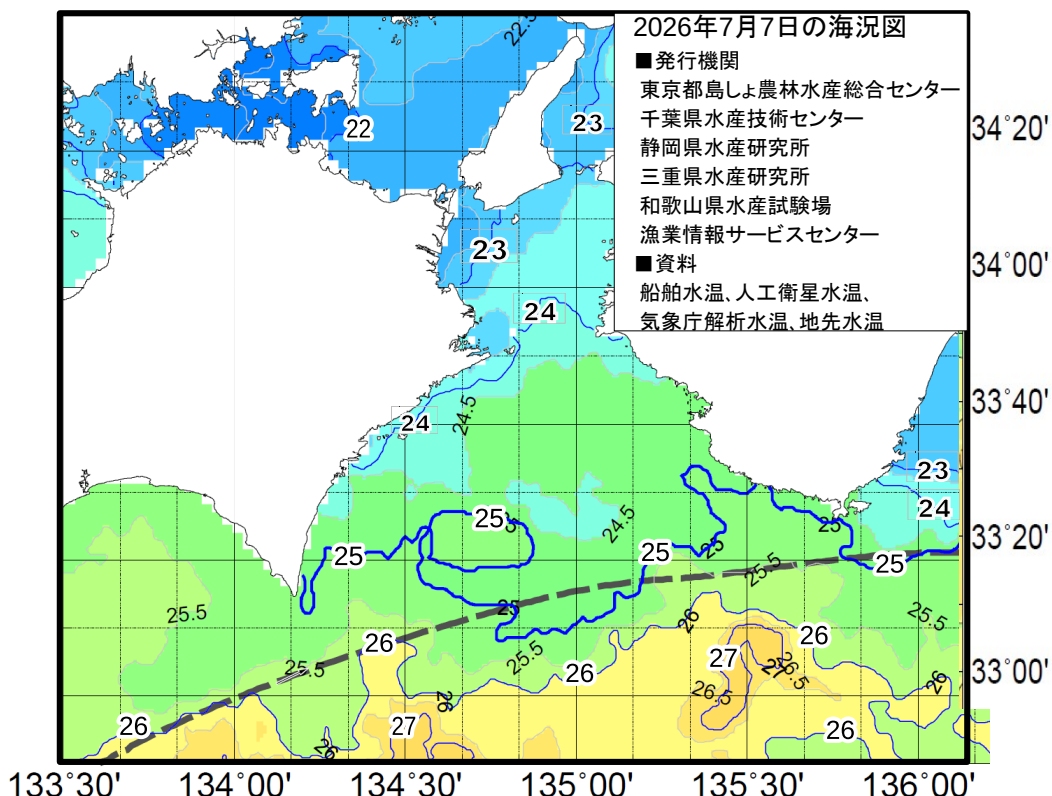
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は25～27℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で22、紀伊水道で22～24、海部沿岸で23～24℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

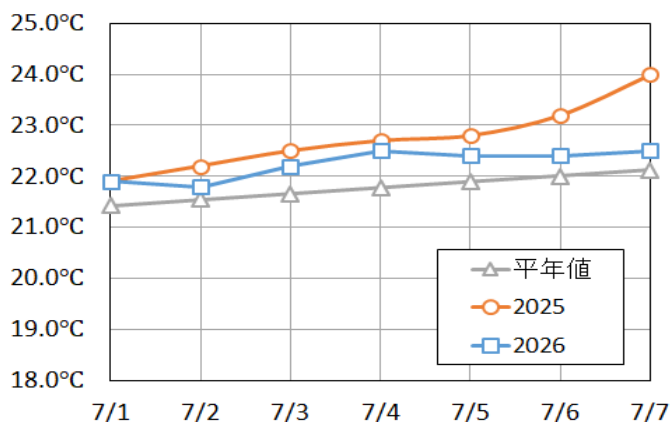
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

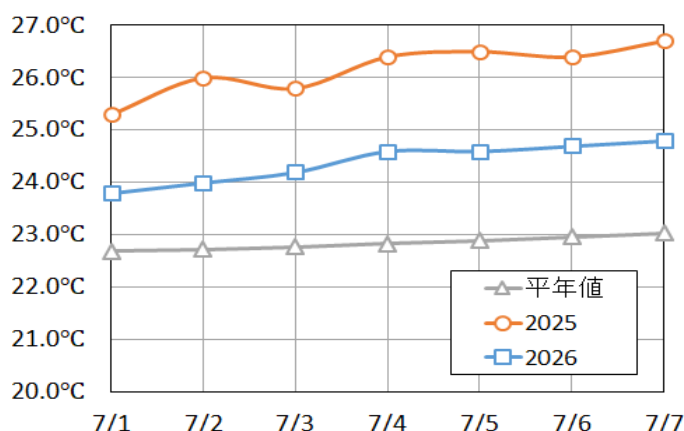
2. 地先水温(7月1日～7月7日)

鳴門地区の水温は、21.8～22.5℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。浅川地区は、23.8～24.8℃で「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、1.9～2.3℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(7月8日～7月14日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」、浅川地区で「高め」で推移する見込み。

漁況

(6月29日～7月5日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが60.8トン水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に7.8トン、あまだい類が増えて0.4トン水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく増えて中主体に20.4トン、

マダイが増えて大主体に0.5トン水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく増えて大主体に0.7トン、

ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.4トン、

マダイが増えて0.4トン水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

大型定置網では、マイワシが大きく増えて2.1トン、マルソウダが1.1トン、

ゴマサバが大きく増えて中主体に0.6トン、マアジが0.6トン、

シマアジが大きく増えて0.4トン水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	60,750	1,215		→
	延縄	81	ハモ	7,830	97	中主体	↗
		54	あまだい類	354	7		↗
	底びき網	36	ハモ	20,444	568	中主体	↗↗
		29	マダイ	518	18	大主体	↗
	小型定置網	14	イサキ	723	52	大主体	↗↗
		13	ブリ	392	30	めじろ級主体	↗↗
		15	マダイ	382	25		↗
海部沿岸	大型定置網	2	マイワシ	2,066	1,033		↗↗
		2	マルソウダ	1,117	558		→
		2	ゴマサバ	628	314	中主体	↗↗
		2	マアジ	588	294		→
		2	シマアジ	369	184		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘